

道年金者組合ニュース

年金引下げ違憲訴訟最高裁判決報告集会開く
裁判糧に生活出来る年金制度の実現を

7月1日、最高裁で上告棄却の不当判決が下されました。それを受けて8月7日に北海道訴訟原告団・弁護団、年金裁判を支援する会、年金者組合北海道本部の主催で最高裁判決報告集会を行いました。その後、年金裁判を支援する会総会を開催しました。



加藤文晴弁護士

来賓あいさつに続いて、加藤文晴弁護士が今回の裁判の意味と判決の内容について報告しました。「北海道では、2015年に、653名の原告が札幌地方裁判所に提訴し、10年にわたる法廷闘争を経て、2025年7月1日に、最高裁判所第三小法廷で判決が言い渡されました。

国の主張をそのまま認める不当判決

その内容は広範な立法裁量を認めた堀本訴訟最高裁大法廷判決を維持し、『世代間の公平』や『年金制度の持続可能性を確保する』という国の主張をそのまま認め、『憲法25条、29条に違反するもの』とはいえない」と判断した第二小法廷判決を踏襲し、私達の主張をすべて排斥する上告棄却判決でした。最高裁が、大法廷に回付せず、口頭弁論も開かないまま上告棄却の判決を言い渡したことは、『憲法の番人』としての自らの役割を放棄したものであり、強く抗議すべきものです。

最低保障年金制度の創設が共通認識に

しかし、『裁判を通じ、最低保障年金制度』の創設をはじめ、生活出来る公的年金制度の確立が若者を含めた共通の課題であることが明らかにすることが出来たのは、この裁判の大きな成果と言えます」と報告しました。その後、3人の原告が

第441号
2025年9月号
全日本年金者組合
北海道本部
〒003-0801
札幌市白石区菊水
1条4丁目
1-5-202
Tel 011-815-6338
Fax 011-876-8511
E-mail
donenkin@sirius.oc
n.ne.jp



当日の会場の様子

残務処理は年金者組合北海道本部が引き継ぐことなどを確認し、総会を終了しました。

引き続き、「道年金裁判を支援する会」総会を開催し、吉岡書記長が裁判闘争の終了に伴い「支援する会」を解散すること、裁判報告集を作成すること、

「年金裁判を支援する会」を解散

報告し、土本原告団共同代表が抗議声明を読み上げ、吉岡書記長が行動提起を行い、報告集会を終えました。



抗議声明を読み上げる土本原告団共同代表

原生林

8月15日は終戦記念日。アジアで2000万人、日本人310万人の命が奪われた侵略戦争を二度とおこしては

札幌手稲支部
高際洋子

(土本)

なりません▼今だに侵略戦争を美化する集団が、東京九段北の靖国神社に参拝した。その中に現職の閣僚2名、元閣僚が大挙参拝。また、参政党の国会議員18名全員、更に地方議員合わせ88名が記念撮影。犠牲になった人たちをどのように考えているのでしょうか▼広島・長崎市長は平和式典で二度と核兵器は使用しないで欲しい、日本は唯一の被爆国として核兵器禁止条約に加盟し、政府はその先頭に立つべきだと訴えました▼年金者組合は平和があつてこそ命と生活が守られると日常生活に奮闘しています。組合員の皆さん頑張りましょう。

8・15年金支給日宣伝行動

25支部が実施245筆の年金署名集約

終戦の日と重なる8月15日の年金支給日宣伝は、平和を願う行動と合わせて、各支部で多彩な取り組みが行なわれました。

石狩支部が初めて年金支給日宣伝

この5月に再建したばかりの石狩支部が、8月15日に初めての年金支給日宣伝行動を実施しました。7名が参加して、ピラを20枚撒き、17筆の署名を集めました。川俣書記長は「石狩支部として初めての取り組みなのでほっとしています。今回はお盆の最中ということで、



右は石狩支部再建後初めての宣伝署名行動

参加出来ない方もいたが、次回はより多くの参加で取り組みたい」とコメントしました。

旭川支部 赤紙配布と宣伝行動

他団体と共同して35名で「赤紙配布行動をしました。リレートークを行ない、戦争の悲惨さを訴えました。その後、場所を変え、9名の参加で年金支給日宣伝行動を行ない14筆の署名が集まりました。

室蘭支部 30度に迫る暑さの中10名参加

共産党の議員も駆けつけ終戦記念日の宣伝を行いました。組合員がマイクで年金の大幅引き上げを訴えました。30度前後の暑さの中、10名が参加しました。

余市支部「改憲許すな」スタンディング

10日「改憲許すな」の横断幕を中心にスタンディング行動を実施しました。



余市支部のスタンディング

被爆80年原水禁世界大会 長崎大会参加者の声を紹介！

十勝支部 岡本 顕さん

被爆者の「死んでしまいたい」という気持ちを押し止め、この地獄のような現状を誰が伝えるのか？との思いから生きてきた」との話には、ぐっとこみ上げるものがありました。平和への志を持つ世界中の人たちと共有できるこの場にいることに、感動せずにはいられません。80才になりましたが、ま

旭川支部 木村恵美子さん

だまだがんばらねばと元気をもらって帰って来ました。



網走支部 村椿 直子さん
大会に参加し現地です。た絵手紙です。

北海道平和美術展に 札幌中央・札幌白石支部が出展

第49回北海道平和美術展が札幌市民ギャラリーで開催されました。札幌白石支部と札幌中央支部の組合員が出展しましたので作品を紹介します。

札幌中央支部 山口重宏



札幌白石支部 福重紀代子
「戦火の中をさまよう」



札幌中央支部 奥井登代



札幌中央支部 齊藤勝代



被団協の被爆者の方々から、原爆被害の凄惨でむごたらしい実相を聞くことができました。唯一の戦争被爆国に住む私たちは、非人間的な核兵器の恐ろしさを多くの人に伝え、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを訴え続けなければとの思いを強くしました。

支部だより

音更支部

補聴器購入助成で

音更町と懇談



音更町と音更支部との懇談会

い に を 助 ら う 害 ほ で 係 知 難 い
と 至 考 成 補 ソ ン と か な が 症 聴 事
大 ら え 制 聴 ス の の い 明 の 認
変 な る 度 器 か バ 障 。 確 関 認

7月28日、音更町役場から保健福祉部長、同福祉課長、高齢者福祉課長が、支部からは支部長、書記長、副支部長が出席し、補聴器購入費の助成について懇談しました。深谷保健福祉部長から年金者組合の要請について回答がありました。

①現時点で助成実施の予定はない。
②助成について国や道で助成制度を実施していないこと、

残念な回答がありました。年金者組合からは「難聴があると知識力と情報処理のスピードが低下しやすくなるが、補聴器を使用することによって知識力の低下が制限される」と資料を示して訴えましたが、「難聴は認知機能に影響を及ぼす」との共通認識を持つまでは至りませんでした。

聞こえないことで社会参加が出来なくなることには損失であり、「孤独・孤立化対策推進法」を活用出来ないか、聴力検査を町の健診に加えてはどうかなど提案しました。

最後に懇談の内容は署名に協力してくれた老人

《活動日誌》

8月度

- 13日(水)第23回北見支部定期大会
- 15日(金)第1回常任執行委員会
年金支給日宣伝
- 19日(火)第2回執行委員会
女性部役員会
- 23日(土)第34回美唄支部定期大会
- 27日(水)第37回札幌北支部定期大会

9月度

- 2日(火)女性部役員会

《活動予定》

- 9日(火)石狩ブロック会議
- 9-10日中央本部執行委員会
- 10日(水)全国都道府県連本部委員長書記長会議
- 第2回常任執行委員会
- 11-12日第21回全道女性部交流の旅
- 16日(火)第3回執行委員会
女性部役員会
- 19日(金)釧路ブロック会議
- 24日(水)十勝ブロック会議
- 25日(木)第29回札幌厚別定期大会
当別支部年金学習会
- 27日(土)第37回札幌東支部定期大会
第31回江別支部定期大会
- 29日(月)第37回札幌豊平支部定期大会
- 30日(火)後志ブロック会議



小樽支部うたごえサークルの皆さん

8月9日、広島・長崎の原爆犠牲者を追悼する「おたる運河平和灯ろう流し」が行われました。

さつあいのあと、小樽支部のうたごえサークルの皆さんが

小樽支部 うたごえで
運河から被爆者を追悼

クラブにも共有する事を伝えて終了しました。

釧路・札幌北支部
第60回矢白平和
盆踊りに参加

指導で、被爆者への鎮魂を込めて、運河にうたごえが響き渡りました。



矢白別にて、札幌北支部の皆さん

酪農民の土地を買収して、矢白別に日本一広大な自衛隊演習場と基地を建設するために、暗躍した自衛隊に、土地買収に忸することなく、平和で豊かな酪農郷をめざして、基地反対を貫いた農家3戸を支援し、激励するために、多くの団体が連帯して始まった「矢白別平和盆踊り」が、1965年から毎年欠かさことなく、60年を迎えました。

8月9日、600名が

支部大会

参加し、盛大に交流しました。釧路支部は、総勢24名が参加し、焼肉で夕食交流で大いに盛り上がり、ステージ集会・文化交流・盆踊り、近年にない豪華な花火大会などを楽しみ、交流を図りました。

札幌北支部も村山副支部長が毎年参加していましたが、今年は支部や地域に参加を呼びかけ、貸し切りバスを仕立てて6名で参加しました。

☆北広島支部

8月3日

委員長 下館 英彦
書記長 伝法 俊美

☆北見支部

8月13日

委員長 福岡 正好
書記長 木村 正寿

☆美唄支部

8月23日

書記長 福田 征機

☆札幌北支部

8月27日

委員長 長森 ヒナ子
書記長 小山 勲

ちぎり絵

室蘭支部 奥田八重子



絵手紙



芽室支部 山本 美千子

札幌清田支部 鈴木照子



網走支部 山本 玲子



文芸欄

俳句

放牧の馬のたてがみ跳ねて真風

札幌白石支部

岩渕 有

暮らし間医療支援切り能登残暑

札幌東支部

北川 恭三

夏野菜届く故郷の土をつけ

札幌白石支部

山本 正博

生きたこと巢立つ小鳥の声で

札幌白石支部

福尾 弘子

汗拭い空を仰げば鱗雲

旭川支部

撮り鉄爺さん

ハローワーク残暑を握る求人票

室蘭支部

落合 敏子

墓参り母の形見の帯締めて

室蘭支部

上野 利久

汗吹き出す拭いて拭いて夕仕度

北見支部

河西 澄子

何もかも放り出したし秋暑し

網走支部

弘夢

川柳

逆流と歪みを正す声高く

十勝支部

金倉 俊嗣

JR廃線続くよどこまでも

旭川支部

中易政四郎

経団連ベーシックインカム世

芽室支部

千葉 清晃

冤罪が晴れても謝らぬこわい

岩見沢支部

弥之輔

短歌

ふるさとの祭りの日に

敗戦のラジオをきき泣き伏す大人

網走支部

浩子

夕映えにやさしい川面のどこまでも

旭川支部

ゆきんこ

あの日忘れぬ原爆ドーム

作品応募先 fax 011-876/8511 メール donenkin@sirius.ocn.ne.jp/

宛先 札幌市白石区菊水1条4丁目1-5-202